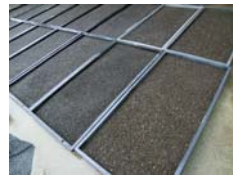


平成26年度 親子ふれあい農業体験学習 田植え体験 6月8日(日)8時30分

きょう さぎょう 今日までの作業

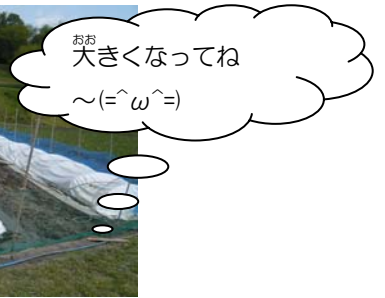
がつげじゅんころ もみま ① 4月下旬頃 籾撒き

籾（お米の種）を撒きます。箱に土を入れ、その上に、機械で籾を撒き、上からまた土を薄くかぶせ、水をたっぷりふくませます。



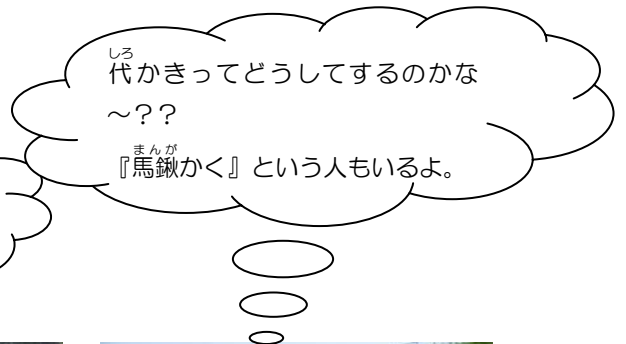
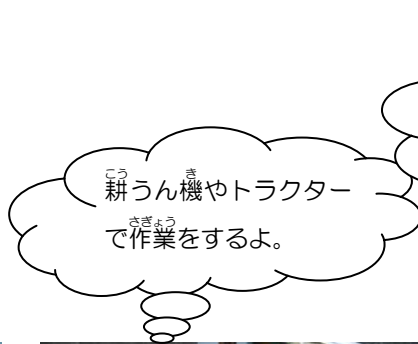
がつはじ いくびょう ② 5月初め 育苗

苗を育てています。苗は寒さに弱いのでビニールでおおってあたたかくした中で育てています。（もち米を植える田んぼとは違うところで育てています）



がつお ころ たう じゅんび ③ 5月終わり頃 田植え準備

田んぼに水をはります。苗も大きくなっています。水をはったあとに、田んぼを耕して、平らにする作業を行います。これを代かきと言います。水をはる前には、田おこしという土を耕うんする作業もしています。



今日の作業（田植え）

④ 6月8日 田植え

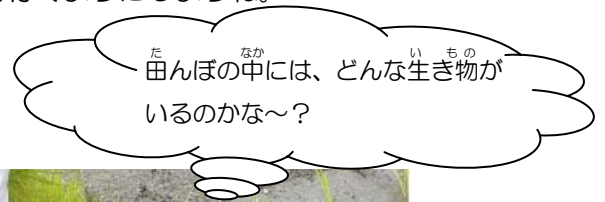
さあ、今日は田植え作業です。



- ・あついで、こまめに水分をとろうね。
- ・走り回ったり、けがをしないようにしようね。
くつしたは必ず、はくようにしてね。
- ・他の人の田んぼには入らないでね。
- ・あぜなどの草で足をつかないために、サンダルなどをはいてね。
- ・トイレには余裕を持って行くようにしようね。

苗を持って田んぼに入ろう。前の人を押さないでね。

苗を2～3本とって、まっすぐ3cmくらいの深さに植えよう。



田植えが終わったら、順に足などを洗いましょう。

⑤ これからの作業

田植え後は、あぜなどに草がどんどん成長していきますので、草刈り作業などをします。なぜ、草刈りをする必要があるの？それは虫などが発生し、稲に移る場合があるからです。稲が大きくなってきたら、水を1回ぬきます。田んぼを干すことによって、根のはりを強くします（土用干しともいいます）。そうすることで稲はどんどん立派に育っていきます。

どんな風に大きくなっていくのかな～？どんな花をさかすのかな～？これからの成長が楽しみです。

9月23日の稲刈りまでの間にも、田んぼに来てくださいね。おいしいもち米ができますように☆

☆なにがちがうのかな～？？

ふだん食べているお米ともち米。もち米はおもちをつくるのに使うよね。

なんでもちもちしているのかな～？お米の色は同じなのかな～？？

